

広報

# ふじ

平成26年

11 | 5 No.1089

もくじ

② 特集 **工場夜景**

⑫ 環境フェア／環境エネルギー展

⑬ まちかどネットワーク

⑭ 暮らしのたより

⑯ 栗石通信

10月17日 ポリプラスチックス株式会社の工場夜景  
(入道樋門公園(宮島))



# 岳南電車との共演

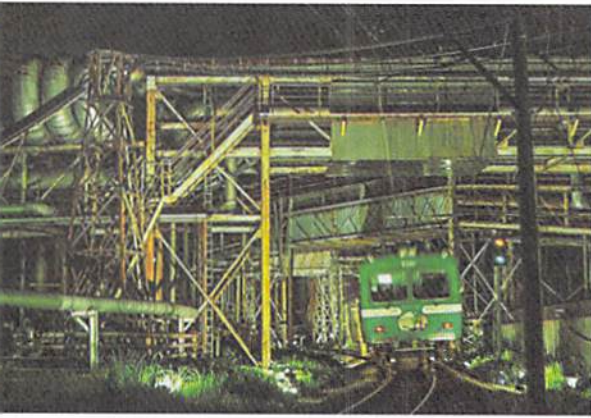
岳南電車は、吉原駅から岳南江尾駅まで全長9・2キロメートル、市内で唯一の私鉄ローカル線です。戦後、工場への資材を運ぶ鉄道として開通・発展し、工場で働く人々や地域の人々の「足」として、運行してきました。しかし、平成24年、長年、市の産業を支えてきた貨物部門が運行を終了し、現在、運営存続の危機に直面しています。

そのような状況の中、岳南電車を輸送以外に活用する動きが高まっています。その一つが、工場夜景との共演です。岳南電車が行く路線沿いには、数多くの工場が建ち並び、車窓から見える工場夜景に魅力を感じる人もふえています。

## 発信の幅が広がる

YEGの工場夜景ツアーで初めて工場夜景を見たときは感動しました。岳南電車と沿線の工場夜景を組み合わせれば、違った層の集客も見込めるはず。また、ふだん岳南電車を利用しない市民の皆さんが乗車し、地の電車を再認識してもらいたい機会になります。

ことし、岳南電車自体が鉄道として初めて、日本夜景遺産に認定されたこともあり、今が好機です。岳南電車とほかの要素を組み合わせることで、発信の幅が広がります。工場夜景との共演は、その一つです。多くの皆さんの支援には、心から感謝しています。だからこそ、私たちも、できる限りこのまちのPRに協力したいと考えています。



富士山世界遺産登録1周年記念に、特別にライトアップされた日本製紙株式会社吉永工場のパイプラインを抜ける岳南電車（提供：富士工場夜景倶楽部）



岳南電車株式会社  
社長 上原 厚さん

煙突、工場—今ある素材を活用するそれが、まちを発信する一つの手段

## 見方を変えれば、

### 新しい魅力に

工場夜景は、このまちを訪れた人たちの宿泊や翌日の楽しみにつながることができ、長く滞在してもらうきっかけになります。

また、富士市は、出張で訪れるビジネスマンが多い一方、会社と宿泊施設との行き来だけになってしまっているのが現状です。その客層に、このまちをより知ってもらう切り口として、まちの特徴である工場に焦点を当てた工場夜景は、最適な素材です。

そのほか、工場夜景として工場が注目されると、そこで働く人たちが喜びや誇りを感じるようになります。これは、まちの活力につながる重要な要素です。

もともとある素材も、見方を変えれば、まちを発信する新しい観光資源になります。産業が「生きている」という今の姿を切り取った「工場夜景」は、富士市の日常にあるものを、角度を変えて捉え直した、新しい魅力なのです。



岳南原田駅



常葉大学富士キャンパス  
経営学部  
教授 大久保 あかねさん